

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【公開番号】特開2016-127420(P2016-127420A)

【公開日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-041

【出願番号】特願2014-266670(P2014-266670)

【国際特許分類】

H 04 N 5/93 (2006.01)

H 04 N 5/76 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 11 B 27/034 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/93 Z

H 04 N 5/76 B

H 04 N 5/225 F

G 11 B 27/034

G 11 B 20/10 301Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月18日(2017.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の画像を取得する画像取得手段と、

前記画像取得手段により取得された複数の画像から、新たな動画像を生成する動画像生成手段と、

前記画像取得手段により取得された複数の画像から、特定の画像を取得する特定画像取得手段と、

前記動画像生成手段により生成された前記新たな動画像と、前記特定画像取得手段により取得された前記特定の画像とを関連付けて記憶手段に記憶させる記憶制御手段と、
を備えたことを特徴とする画像生成装置。

【請求項2】

前記画像取得手段により取得された前記複数の画像を1つの画像内に合成し、新たな画像を生成する画像生成手段と、

を更に備え、

前記特定画像取得手段は、前記画像生成手段により生成された前記新たな画像を特定の画像として取得する、

ことを特徴とする請求項1に記載の画像生成装置。

【請求項3】

前記画像取得手段により取得された前記複数の画像から、当該複数の画像の総数より少ない数の画像を選択する画像選択手段と、

を更に備え、

前記動画像生成手段は、前記画像選択手段により選択された前記複数の画像から、前記

新たな動画像を生成し、

前記特定画像取得手段は、前記画像選択手段により選択された前記複数の画像から、前記特定の画像を取得する、

ことを特徴とする請求項2に記載の画像生成装置。

【請求項4】

前記画像取得手段により取得された前記複数の画像を、当該複数の画像の夫々の使用情報に基づいて評価する評価手段と、

を更に備え、

前記画像選択手段は、前記評価手段による評価結果に基づいて、前記評価手段により評価された前記複数の画像から、相対的に評価の高い画像を複数枚選択する、

ことを特徴とする請求項3に記載の画像生成装置。

【請求項5】

前記評価手段は、前記使用情報として当該複数の画像に関する再生回数やお気に入り情報に基づいて、前記画像取得手段により取得された複数の画像を評価する、

ことを特徴とする請求項4に記載の画像生成装置。

【請求項6】

前記画像生成手段は、前記画像選択手段により選択された前記複数の画像を1つの画像内に合成し、新たな画像を生成する、

ことを特徴とする請求項3から5の何れか1項に記載の画像生成装置。

【請求項7】

前記画像生成手段は、前記画像選択手段により選択された前記複数の画像を前記評価結果が相対的に高い画像を前記評価結果が相対的に低い画像よりも大きい画像サイズで表示するように1つの画像内に合成し、新たな画像を生成する、

ことを特徴とする請求項4又は5に記載の画像生成装置。

【請求項8】

前記画像生成手段により生成される画像のサイズの情報を取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段により取得された画像のサイズの情報に応じて前記1つの画像内に合成する画像の枚数を決定する決定手段と、

を更に備え、

前記画像生成手段は、前記決定手段により決定された画像の枚数で、前記新たな画像を生成し、

前記画像選択手段は、前記画像取得手段により取得された複数の画像から前記決定手段によって決定された枚数の画像を選択する、

ことを特徴とする請求項6に記載の画像生成装置。

【請求項9】

前記画像選択手段は、前記画像取得手段により取得された前記複数の画像と、前記画像生成手段により生成された新たな画像とから複数の画像を選択し、

前記動画像生成手段は、前記画像選択手段により選択された当該複数の画像から、新たな動画像を生成する、

ことを特徴とする請求項3から8の何れか1項に記載の画像生成装置。

【請求項10】

前記記憶制御手段は、前記特定画像取得手段により取得された前記特定の画像を、前記動画像生成手段により生成された前記新たな動画像のサムネイル画像として表示手段に表示させるよう関連付けて前記記憶手段に記憶させる、

ことを特徴とする請求項1から9の何れか1項に記載の画像生成装置。

【請求項11】

表示手段に表示されるサムネイル画像の表示サイズに関する情報を取得する表示情報取得手段と、

を更に備え、

前記記憶制御手段は、前記表示情報取得手段により取得された表示サイズに関する情報

と、前記特定の画像とを、関連付けて前記新たな動画像のサムネイル画像として、前記記憶手段に記憶させる、

ことを特徴とする請求項 1 から 10 の何れか 1 項に記載の画像生成装置。

【請求項 1 2】

記憶手段を備える画像生成装置で実行される画像生成方法であって、

複数の画像を取得する画像取得ステップと、

前記画像取得ステップにより取得された複数の画像から、新たな動画像を生成する動画像生成ステップと、

前記画像取得ステップにより取得された複数の画像から、特定の画像を取得する特定画像取得ステップと、

前記動画像生成ステップにより生成された前記新たな動画像と、前記特定画像取得ステップにより取得された前記特定の画像とを関連付けて前記記憶手段に記憶させる記憶制御ステップと、

を含むことを特徴とする画像生成方法。

【請求項 1 3】

記憶手段を備える画像生成装置を制御するコンピュータを、

複数の画像を取得する画像取得手段、

前記画像取得手段により取得された複数の画像から、新たな動画像を生成する動画像生成手段、

前記画像取得手段により取得された複数の画像から、特定の画像を取得する特定画像取得手段、

前記動画像生成手段により生成された前記新たな動画像と、前記特定画像取得手段により取得された前記特定の画像とを関連付けて前記記憶手段に記憶させる記憶制御手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。